

議会報告会・意見交換会における市民（高校生）からの意見等に対する回答一覧

市民（高校生）の要望・意見	回答	担当課
◎ 若者が魅力を感じるまちについて		
<p>休日に遊ぶ場所がイオン鳥取北店等に限られており、他にももう少し楽しめるようなスポットがほしい。</p>	<p>遊びやスポーツ、飲食などが楽しめるスポットの充実、まちの魅力を高めるうえで、大切な視点と考えます。そのようなスポットの多くは、民間事業者が事業主体となり、採算性を考慮して設置運営されるものですが、本市には「鳥取砂丘砂の美術館」や「鳥取市歴史博物館」、「鳥取市民体育館エネトピアアリーナ」といった多くの観光・教育・スポーツなどの公共施設があり、また湖山池周辺など自然を満喫できる場所もありますので、市内各所を訪れてみていただければと思います。</p> <p>そのほか、市では鳥取駅周辺を市民の皆さんがワクワクする場所に再生する取り組みを進めています。この中で、若者が集い、楽しみ、交流できる空間づくりも研究をしていますので、提案の内容も参考にしていきたいと思います。</p>	<p>政策企画課</p>
<p>地元ならではのもの（例えば、特産品や有名な自然等）を使用し、心が安らぐようなものがほしい。</p>	<p>本市には、鳥取砂丘や山陰海岸ジオパークをはじめとする豊かな自然や梨、砂丘らっきょう、松葉ガニなどの多彩な四季の味覚、古くから受け継がれてきた麒麟獅子舞や傘踊りといった歴史・伝統文化など、魅力ある観光資源が多くあります。</p> <p>こうした魅力的な観光資源を多くの方に知ってもらうため、本市を含む麒麟のまち圏域（鳥取県東部1市4町と兵庫県北但西部2町）では、ウェブサイトやInstagramを通じた観光情報の発信を行っているところです。</p> <p>また、近年は、鳥取砂丘や多鯉ヶ池を中心にサンドボード、カヌーなどのアクティビティが盛んで、本市も鹿野町でのシャワークライミングや佐治町での間伐体験など、豊かな自然環境を活用した新たな観光体験の商品化を支援するなど、観光客の受入環境づくりを進めています。</p> <p>今後も、本市ならではの多彩な資源を活用し、若年層も含めた幅広い年齢層に魅力を感じてもらえる観光振興に取り組んでまいります。</p>	<p>観光・ジオパーク推進課</p>
<p>自分たちの地域の魅力を自覚、自認し、フォトスポットの多いまちにする。インスタグラムと連携して、グーグルマップに画像をアップしてはどうか。</p>		
<p>若者が楽しめる自然を生かした施設がほしい。例えば、海ならシュノーケリング、カヌー。山ならアスレチック、登山、川遊びなどで鳥取の自然を知ってもらおう。</p>		
<p>就職したいと思える企業が少ない。</p>	<p>「給与が良い」「福利厚生が充実している」「大手企業」など就職先を選ぶ上で重視するポイントは人によって様々ですが、本市にも、特色があり地域に根ざし、地域経済を支える魅力的な企業がたくさんあります。</p> <p>本市としては、そうした企業の魅力、地域の良さを知る機会を創出し、皆様の将来の選択肢としていただけるよう、引き続き力を入れて参りたいと思います。</p>	<p>経済・雇用戦略課</p>
<p>JR鳥取駅高架下のレンタルサイクルの利用可能な時間を延長してほしい。</p>	<p>レンタサイクル事業は、シルバー人材センターが行っており、駐車場管理人が駐在する時間帯での貸出となっています。利用時間の延長については、シルバー人材センターへお伝えします。</p>	<p>交通政策課</p>
<p>汽车の本数が少ない。バスや汽车を増やして、県外へのアクセスを良くしてほしい。</p>	<p>鉄道や路線バスの運行本数は、利用者の減少をふまえて、民間事業者が経営上の判断として減便しており、増便は難しいと考えます。</p>	

市民(高校生)の要望・意見	回答	担当課
◎ どうしたら鳥取市が盛り上がるかについて		
<p>県外の人、外国の人にも、心が落ち着くと思われるような場所をつくり、大きなPRポイントにしてはどうか。</p>	<p>鳥取砂丘は悠久の時を経て、自然が育んだ唯一無二の観光資源であり、国内外から訪れる多くの観光客に感動や安らぎを与えています。この鳥取砂丘がある日本海と手つかずの自然が残るのどかな山間地域が距離的に近く、両方一度に楽しめる地理的優位性があるのも本市の特徴となっています。</p> <p>こうした豊かな自然環境を活かし、県内を横断するサイクリングルート(うみなみロード)の整備が進められており、本市も観光客等がサイクリングを楽しめる受入環境づくりに取り組んでいるほか、四季の花や味覚などをテーマにしたイベントの開催を支援しています。</p> <p>また、鳥取市観光サイトでは、おすすめの写真スポットなどを情報発信しており、今後はSNS等の活用も含め、さらなる知名度の向上に取り組んでいきたいと考えています。</p>	観光・ジオパーク推進課
<p>自然を満喫するサイクリングコースが鳥取には少ない。サイクルステーションが出来ても、山間地域でのステーションが少なく、広がりがない。</p>		
<p>他県にある「アニメや漫画の聖地」のように、鳥取市もフォトスポットをつくり、SNS発信等で有名にして知名度を上げる。</p>		
<p>鳥取の自然を知ってもらい、発信する。例えば、県外の若者が来て、何かしたいと思うときに、鳥取市がサポートできる仕組みを作っておく。</p>		
<p>海や山をもっと活用すべき。宝だと思う。自然を感じられるような季節ごとのイベントを行うのはどうか。</p>		
◎ 鳥取市がもつ資源を生かし、観光業をさらに盛り上げるには		
<p>砂丘プリンやソフトクリーム、福部にある夕日の見える温泉等のおすすめスポットをもっと発信できたらいい。</p>	<p>本市の観光情報を発信する鳥取市観光サイトは、令和3年にリニューアルして以降、情報量の増加やスマートフォンなど、マルチデバイスへの対応が可能となったことで、大幅に閲覧数が増加しています。鳥取砂丘をはじめ、周辺の観光スポットや飲食・観光体験等の旬な話題を広く取り扱うことで、周遊促進にもつながっており、本市の重要な観光情報発信ツールとなっています。</p> <p>また、鳥取砂丘の観光振興、活性化を図るため、砂の彫刻「砂像」を常設展示する「砂の美術館」を中心とした誘客に取り組んでいるほか、砂丘西側へのリゾートホテルの開業を見据え、付加価値の高い体験コンテンツの開発や周囲の景観改善にも取り組んでいるところです。</p> <p>コロナ禍を経て回復が顕著なインバウンド需要や多様化する観光客のニーズに対応しながら、今後も効果的な観光情報の発信や観光資源の磨き上げを図っていききたいと考えています。</p>	観光・ジオパーク推進課
<p>砂丘に来た観光客に、砂の美術館にも足を運んでもらいたい。</p>		
<p>リッチな方向けの戦略として、高級ホテルのような観光資源を増やして、それをメインにしなが、鳥取を宿泊の中心として観光してもらえらるようになるといい。</p>		
<p>観光資源の認知度を高めていく必要がある。</p>		
<p>SNSを使って認知度をあげたうえで、さらにテレビ等に扱ってもらうことで、観光としての魅力や認知度が上がるのでは。</p>		

市民(高校生)の要望・意見	回答	担当課
◎ 鉄道交通のあり方について		
因美線を利用するとき、鹿との衝突で30分ほどの遅れが出ることがあり、生活に支障をきたす。遅れの軽減と列車の増便を可能にするために、因幡社駅で列車がすれ違う設備の復活を望む。	鉄道設備の充実等については、JRへ要望を行っていますが、設備投資は困難であるとの回答を受けています。引き続き、利便性の向上についてJRへ要望していきます。	交通政策課
自動車やバス、さじ未来号で通学をしているが、便がなく部活を休むこともある。さじ未来号を自動車の到着時間に合わせて活用できるようにしてほしい。	さじ未来号は、NPO法人さじ未来が運行主体であり、運行ダイヤもさじ未来が決定していますので、自動車との乗り継ぎ改善について要望があったことをさじ未来へお伝えします。	
◎ 耕作放棄地の利活用について		
少子高齢化による跡継ぎ不足や、十分な収入が見込めないことが原因だと思う。	耕作放棄地は、ご意見のとおり、農家の高齢化や後継者不足により、ほ場整備が行われていないような耕作条件の悪い農地を中心に増加しています。本市では、新たに農業を始める方(新規就農者)を県内外から募り、研修施設「とっとりふるさと就農舎」等で育成を図っているほか、農地バンクを活用し、地域の担い手農業者へ農地の集積や集約を図り、経営規模の拡大や効率的な農業経営となるよう支援を行うことで、農地の維持と確保に努めています。また、本市でも耕作放棄地となった農地において、そばやショウガ、薬用作物、果樹の栽培に活用されている事例がありますが、中山間地域の農地では、車両や農業機械が入らなかつたり、畦畔などの管理に多大な労力が必要なことから、植樹を行い、山林化を検討している場所もあります。このような取組の推進や事例の周知を図りながら、本市の農業をPRし、多くの方に関心をもっていただくことで、農業に関わっていただく関係人口の増加や耕作放棄地の発生防止と解消に努めてまいりたいと考えます。	農政企画課
メインで育てるものとは別の作物を育てるのもいいのでは。		
いちご狩りなど子ども等に体験をさせることで興味を持ってもらえるのではないかと。		
交付金制度をもう少し充実させたらいいのではないかと。		
これから担っていく若者に伝えるには、SNSをメインに広めていくべき。		
耕作放棄地そのものをなくしていくために、日本だけでなく海外の人々に農業のことをPRして、興味を持ってもらうということに力を入れた方がいい。		
花をみてもらったり、子どもが自由に遊べたり、若者にとっても観光やデートでいけるような場所を作っていくのがいいのではないかと。	本市では復元整備が進む史跡鳥取城跡を市民や観光客の憩いの場として活用するため、近年は新たにライトアップによりその魅力を発信し、期間中には「鳥取城跡ときめきマルシェ」を開催するなど、若者や家族連れが楽しめる場の創出に取り組んでいます。こうした取組は年間を通じて鳥取砂丘を訪れる多くの観光客を次の立寄り先に誘導し周遊を促していくもので、遊休不動産や耕作放棄地の活用なども重要な視点であることから、その立地環境や歴史的な背景等も踏まえながら、観光資源としての磨き上げや発掘につなげていきたいと考えています。	観光・ジオパーク推進課

市民(高校生)の要望・意見	回答	担当課
◎ 駅前商店街活性化について		
学生がいけるお店が少ないので、増やしてほしい。	駅前商店街には飲食店・衣料店・専門店など様々な店舗があります。高校生にとっては、あまり馴染みがなく、入りにくいお店も多いかと思いますが、一度色々なお店に入ってみることで、新しい発見があるかもしれません。皆さんのような若い客が増えることで、お店も若者向けの品数を増やすなど、少しずつ変わってくると思います。	経済・雇用戦略課
シャッターアートなどでPRしてみてもどうか。	本市では、復元整備が進む鳥取城跡と鳥取駅のまちなか一帯の魅力を創出するため、昨年令和5年度から若桜街道商店街の店舗のシャッターに投光器を設置し、麒麟獅子舞やしゃんしゃん傘踊りをあしらった影絵やお揃いの提灯による演出を行い、商店街の魅力向上に取り組んでいます。 さらに本年度は、この影絵や提灯による演出を活かした新たな取組にチャレンジしようと、商店街の若手の有志の皆さんが自主的にイベントを開催され、本市もその取組を支援しているところです。 今後も商店街や関係する団体の皆さんと連携し、こうした取組を継続し、さらなる商店街の振興、活性化につなげていきたいと考えています。	観光・ジオパーク推進課
午前中に空いているお店が少ないので、開店時間が早いお店があったらいい。	店舗の営業時間は経営者の判断により決められており、たくさんの方が午前中からまちなかに溢れてくれれば開店時間を早めるようなお店も増えてくると思います。本市としても、商店街が賑わい、行って楽しい街になるよう皆さんと一緒に考えていきたいと思います。	経済・雇用戦略課
景観をよくするためにもポイ捨てをなくしたい。	景観の素晴らしい鳥取市にするため、市報やCATV、公式ウェブサイト等のあらゆる広報媒体を活用して、「ポイ捨て」や「不法投棄」をしないよう普及啓発を行っています。また、「ポイ捨て」等が多く見られる場所には、町内会などの協力をいただきながら、注意喚起の看板設置も行っています。 今後も、ごみの「ポイ捨て」や「不法投棄」の撲滅に向けて、市民の皆様と一緒に、環境保全活動の取組を進めてまいります。	生活環境課
ベンチの数が少ないので増やしてほしい。(特に駅)	現在、「人が集い 交流し 魅力あふれる街『鳥取OASIS』の創造」を基本理念に掲げ、鳥取駅周辺の再整備事業に取り組んでいます。 再整備事業を進めるにあたり、令和6年6月に「鳥取駅周辺再生基本計画」を策定しました。 計画の基本方針の1つとして「まちなかへ賑わいをしみ出す空間整備」を掲げ、若者や子育て世代の憩いの空間として、過ごしやすい駅前の広場や快適な待合スペースなどの施設を検討しています。	まちなか未来創造課
家族全員で写真を撮れるよう、カメラをたてる台のようなものを設置してほしい。	また、商業施設の誘致も併せて検討を進めており、皆さんが集う場の創出と、駅前の商店街への人の流れの拠点となる鳥取駅周辺の再整備に向けて取り組んでいるところです。 皆さんが行きたくなる、過ごしたくなる鳥取駅や駅前商店街となるよう、関係機関や関係団体とも連携しながら、鳥取駅周辺再整備事業を進めていきます。	

市民(高校生)の要望・意見	回答	担当課
◎ 鳥取市の少子化について		
大規模なイベントが少ない。「漫画王国鳥取」や豊かな自然を生かしたイベントを開催していくのがいい。	本市では、「鳥取しゃんしゃん祭」や「鳥取三十二万国お城まつり」、「鳥取市花のまつり」、「鳥取市木のまつり」などの多くの大規模イベントが開催されていますが、ご意見いただきました「漫画」や「豊かな自然を生かす」といった、本市の強みや特徴をいかしたイベントの充実についても研究してみたいと思います。	政策企画課
Uターン者Iターン者を増やすためにも、お金を出してSNSで広告を出すのもいいのではないかと。	本市では、Uターン者を増やす取り組みとして今年度、高校生がInstagramで、本市の魅力などを情報発信する取り組みを実施しました。移住者の増加のためにSNSの活用は有効であると考えており、ご意見をいただきました有料のSNS広告についても効果的な手段等を検討していきたいと思います。	地域振興課
大人になったときに思い出せるよう、義務教育の間に学校の出前授業で子育てに関わる鳥取市の取組等を学ぶ機会を設けるといい。	各学校では、家庭科や総合的な学習の時間などに、育児について学んだり、保育所や幼稚園などで、幼児とのふれあい体験を行ったりしており、その中で鳥取市の子育て支援についてお知らせすることもあります。引き続き、様々な機会をとらえ、児童・生徒のみなさんが大人になったときに、家庭生活を営む上で必要となる知識や学びを身に付けられるよう取り組んでまいります。	学校教育課
鳥取で就職したら返さなくてもいいような奨学金の制度があるといい。	本市には、個人に対する直接の支援制度はありませんが、奨学金支援制度を有する市内企業への支援制度があります。従業員の奨学金返済の負担軽減(手当等の支給)をしている企業に対して、その経費の一部を支援するもので、若者の人材確保や定着を図っているところです。	経済・雇用戦略課
防衛大学校のような、国家公務員を養成する学校があるといい。	少子化の進行により、今後、学生数の減少が見込まれる中、全国的に将来を見据えた学校運営やあり方検討が求められています。本市には、防衛大学校や海上保安学校などの国家公務員を養成する専門機関はありませんが、鳥取大学や鳥取環境大学などの高等教育機関や高等学校において、国家公務員をはじめとする様々な職業への就職支援に取り組まれていますので、ご意見の趣旨については、様々な機会を通じて関係機関と共有していきます。	政策企画課

市民(高校生)の要望・意見	回答	担当課
◎ 公共交通機関について		
鳥取駅のバス乗り場は、他県から来た人にとって分かりづらい。	公共交通の利便性の向上に向けて、乗り場案内の改善や通学費助成、キャッシュレス化などに取り組んでいます。いただいた要望内容について、各交通事業者と共有して、できることから改善に努めたいと考えます。	交通政策課
田舎のバスの便数は外からの人の流入に向かない。		
100円バスくる梨は学生からするとすごくありがたいので、今後も維持してほしい。		
自動車賃が高いので、支援があるといい。		
通学時間帯(朝)の乗客数が多いので、車両を増やしてほしい。		
12-15時ごろは特急しかなく乗車賃が高いので、昼間に特急以外も運行してほしい。		
現金利用も残しつつ、ICカードを利用できるところを増やしてほしい。		
鳥取駅に自転車を借りられるところを作ってほしい。		
JRとバスを乗り継いで目的地に行くとき、あまり待ち時間なくスムーズに行けるよう、JRとバスが連携してほしい。		

市民(高校生)の要望・意見	回答	担当課
◎ きこえない、きこえにくい人が暮らしやすいまちづくり		
<p>スーパーマーケットでレジ袋の有無を聞かれても、何を言われているか理解できなかった。コミュニケーションの方法を考えて欲しい。</p>	<p>●会話による意思疎通が困難なお客様に配慮し、コミュニケーション支援ボードを設置しているスーパーマーケットもあります。コミュニケーション支援ボードの設置を希望される店舗について、具体的に教えていただきましたら、本課において、設置の依頼に伺わせていただきます。</p> <p>また、配慮や支援を必要としていることを周囲の方に知ってもらう手段としては、「ヘルプマーク」を身に付けることも有効であると考えられます。配布場所は、県庁障がい福祉課、県内市町村(支所・分庁舎含む)障がい福祉関係課窓口等となっておりますので、お近くの窓口にお越しください。</p> <p>●本課においては、きこえない・きこえにくい方からの相談窓口としては、「鳥取県東部聴覚障がい者センター」及び「鳥取県きこえない・きこえにくい子どものサポートセンター『きき』」を、また、きこえない・きこえにくい方がいつでも安心して集える場所としては、「地域活動支援センター『ほっこり』」を案内しております。</p> <p>その他、障がいのある方の困りごと等の相談については、障害福祉サービスにおける相談支援事業所等の相談機関がその役割を担っております。鳥取聾学校様へは、相談内容に応じて、お繋ぎしたいと考えています。</p>	障がい福祉課
<p>コンビニには「電子レンジ温めの有無」などのコミュニケーション支援ボードがある。スーパーマーケットにもあるといい。</p>		
<p>買い物をする時に、会話が通じないことがあるので、筆談などコミュニケーションを図るための環境整備してほしい。</p>		
<p>鳥取聾学校の周知度が低いのではないかと。聴覚障がいについて、悩まれる方や、困っている方の相談窓口としての機能を発揮すべく、周知の拡大を期待している。</p>		
<p>公共交通の車内アナウンスが分からないので、文字表示してほしい。</p>	<p>障がいのある方も利用しやすい公共交通に向けて、交通事業者と課題を共有して検討していきます。</p>	交通政策課
<p>新幹線の切符購入について、障がい者割引を利用したい場合にインターネット決済は1つの窓口で完結せず、不便さを感じている。</p>		
<p>JRのICカードは、障がい者向けICカードが用意されているが、スマホとの連携が不可能である。マイナンバーカードがあるのだから、スマホ用のアプリケーションと連動するなどして、利便性の向上を図れないか。</p>		

市民(高校生)の要望・意見	回答	担当課
<b>◎ 鳥取の交通事情</b>		
車依存社会から脱却が必要。通勤・通学時間帯の渋滞が多く、鉄道中心がいいと思う。	<p>人口減少や自家用車の普及などによって、公共交通の利用者が大幅に減少し、交通事業者は、利用実態に即した減便を進めています。</p> <p>地域公共交通は、高齢者や学生などの交通弱者や、観光客などの移動手段として、医療・福祉、教育、観光、商業、環境などさまざまな分野の発展のために重要であると認識しており、交通事業者だけでなく、地域団体やNPOと連携して維持・確保に努めています。</p> <p>引き続き、鉄道、バス、タクシー、共助交通など様々な交通手段を組み合わせ地域公共交通を維持していきたいと考えています。</p>	交通政策課
JRの列車の本数や駅が少ないため利用者が少なく悪循環となっている。		
行徳寿町から中央病院行のバスが1日2便で診察の時間に間に合わない。		
公共交通の利用できないエリアの方でも、必要などきに必要なところへ行けるようなシステム作りが必要。		
鉄道やバスの利便性など公共交通がしっかりしていれば、若者の定住や移住者の増加が見込めるのでは。		
路線バスの支払いをキャッシュレス化してほしい。	路線バスへのキャッシュレス化に向けて、関係者と検討を進めています。	
<b>◎ 駅前のにぎわいについて</b>		
駅前のシャッター街がにぎわえばいい。	<p>現在、「人が集い 交流し 魅力あふれる街『鳥取OASIS』の創造」を基本理念に掲げ、鳥取駅周辺の再整備事業に取り組んでいます。</p> <p>再整備事業を進めるにあたり、令和6年6月に「鳥取駅周辺再生基本計画」を策定しました。</p> <p>計画の基本方針の1つとして「まちなかへ賑わいを滲み出す空間整備」を掲げ、若者や子育て世代の憩いの空間として、過ごしやすい駅前の広場や快適な待合スペースなどの施設を検討しています。</p> <p>また、商業施設の誘致も併せて検討を進めており、皆さんが集う場の創出と、駅前の商店街への人の流れの拠点となる鳥取駅周辺の再整備に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>皆さんが行きたくなる、過ごしたくなる鳥取駅や駅前商店街となるよう、関係機関や関係団体とも連携しながら、鳥取駅周辺再整備事業を進めていきます。</p>	まちなか未来創造課
学生が車を待つ間に楽しく過ごせる場所が欲しい。		
若者を呼び込めるような施設を (日吉津より大きい映画館、屋内遊園地、スイーツ、ラウンドワンやタワレコなどのチェーン店 など)		
駅前のお店を紹介したり看板を設置して入りやすくしてはどうか。		
JRを生活手段として利用している学生や高齢者層のために、病院やスーパー、娯楽施設を駅の近くに設ける。イオンのような大型店を駅前に持ってきてはどうか。		